



# 上電友の会だより

「上毛電鉄友の会」の会報誌

## 創刊号



## Joden Supporters Club

上電が設立されたのは大正15年(1926年)の5月27日。84年目を迎えた今年の設立記念日に、地域の足である上毛電鉄の末永い運行を目指して「上毛電鉄友の会」は発足いたしました。みんなでサポートして上電を盛り上げよう!

上電友の会の活動をお伝えする会報誌。沿線の皆様にも読んでいただけるクオリティを目指して努力中。ちなみに便りの名前は今のところ仮名。正式名、募集中! 思いついたらすぐ一報を [joden-support@kl.wind.ne.jp](mailto:joden-support@kl.wind.ne.jp) URLは [www15.wind.ne.jp/~joden/supporters/](http://www15.wind.ne.jp/~joden/supporters/)

### 挨 活性化を目指して

上毛電鉄友の会 代表  
大島 登志彦



上毛電鉄は、遠方に赤城山、近くに田園風景を見ながら、人間味のある暖かさとふるさと群馬の旅情を満喫できる電車です。前橋・みどり・桐生3市の多くの市民の足として、早朝から深夜午後10時すぎまで、30分間隔で走っています。しかし、車王国といわれる群馬県にあって、利用者の減少は著しく、群馬県や沿線の自治体や市民の支援の下で存続してこれたと考えます。

このたび、自らの活動と、会社や沿線の市民団体などに、より効果的な働きかけを行って、上毛電鉄を一層強力に支え、同時にもっと上電に乗ってもらうための土俵作りをする目的で、本会が発足しました。定常的な活動はまだ暗中模索ですが、当面、下記の諸活動を予定して、活動を軌道にのせていこうと思います。

本会が発足した上記の期日は、上毛電鉄(会社)の設立84周年にあたります。区切りのいい年数ではありませんが、今後90周年や100周年に向けて、会社や本会内外のご協力の下で、色々な企画をしたいと思えます。各方面からのご支援・御協力をお願い申し上げます。

### 活 今後の活動スケジュール

2010年		2011年	
6/10 (Thu)	上毛電鉄友の会 オフィシャルサイト 新設	1/3 (Mon)	新春イベント2011 ミニシボジウム
6/18 (Fri)	風鈴電車 飾り付けのサポート	1月	会報誌 No.2 発行
8月	会誌創刊号発行	3月	「友の会」 バスハイキング
8/14 (Sat)	夏休みイベント2010 会員募集キャンペーン	<b>随時、中長期、年次企画</b> 随時 ・沿線歩け大会のサポート ・沿線清掃活動 中長期 ・上毛電鉄90年史資料収集 年次 ・総会 時期未定企画 ・沿線花いっぱい活動 ・サイクルトレインの利用促進	
10/24 (Sun)	クイズ大会 (中小私鉄フェア)		
11月	動くギャラリー 友の会賞		
11月	クリスマstreイン 飾り付けのサポート		

### 祝 友の会と連携した上電再生に向けて



上毛電鉄株式会社 取締役社長  
古澤 和秋

前橋・みどり・桐生の3市を結ぶ上毛電鉄は全長25.4kmの路線で、大正15年5月27日に設立、昭和3年11月10日に営業を開始しました。

当社はこれまで群馬県や沿線自治体の皆様の御支援をいただきながら、安全で快適な輸送を目指すとともに歩け大会などのイベントを多数開催して、地域の方と接する機会を増やし利用促進に結びつけるべく全力で取り組んでおりますが、依然として利用者減が続き、1日も早い下げ止まりが再生のための重要な課題となっております。

このような状況の中で、上毛電鉄友の会が発立され、活動が企画・開始されようとしておりますことは、当社として誠に心強い限りです。

当社は友の会の皆様と連携して、利用促進のPRや情報収集を行うなど、上毛線の安定的な運行に向けて、なお一層努力していこうと気持ちを新たにしているところです。多くの皆様に会員になっていただくことを心より願っております。

### 印 虹色 + 1 & 1 スタンプラリー

主催 虹色 + 1 & 1 スタンプラリー実行委員会  
企画内容

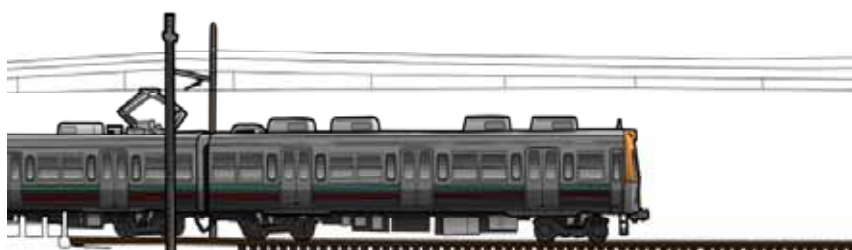
上電おなじみの「赤城南麓フリー切符」を購入いただいた皆様には、ラリー台紙をお渡しし、上電の全8編成の車内及び大胡電車庫に設置したスタンプをラリーしていただきます。

5つ以上のスタンプを押印してご応募いただくと、抽選で10名に上電グッズをプレゼントします。

また、9つ全てのスタンプ押印すると、コンプリート賞としてこれまたすてきなプレゼントを全員に差し上げます。

上電の車輛は一日に6編成しか投入されませんが、検査のため電車庫に入る車輛もありますので、コンプリートは少しハードルが高いかもしれませんが、頑張ってコンプリートを目指してください。ご応募お待ちしております。

実施期間 平成22年10月1日から  
(この事業は、上記実行委員会が群馬県の補助金を得て実施します。)



## 総

# 総会が開催されました

デハ101車内にて、友の会設立総会が去る平成22年5月27日に開催されました。大胡車庫に置かれた車内には会員約30名が集まり活性化に向けて決意を新たにしました。

冒頭に、上毛電気鉄道の古澤社長から「沿線を取り巻く環境は非常に厳しいが、このような会が出来たことは心強い」と祝辞をいただきました。

総会では代表に発起人である大島登志彦氏、副代表に佐羽氏、岡田氏、新保氏の3名が選出されました。また友の会の運営規約が承認され、運営委員が選任されました。その後、友の会の運営方法や会員の募集方法など、これからの活動や取り組みに向けて、活発な意見が交わされました。

今後、自らの活動はもとより、会社や沿線の市民団体などに、より効果的な働きかけを行って、元気な沿線となるよう活動して参ります。



## 言

# 会員のひろば

会員交流の場。皆さんからの上電への想い、お持ちの車両や駅の写真を今昔問わずに紹介するコーナー。投稿お待ちしております。

この度は、友の会発会本当におめでとうございます。上毛電鉄をサポートする市民団体が出来ることは、沿線の市民が、毎日当たり前のように走っている鉄道に目を向け、将来に亘ってこの鉄道を地域づくりに生かして行く取り組みの第一歩になります。少子高齢化が急速に進む日本において、鉄道で他地域とつながりがあることは「暮らしてゆける地域」の重要な要件であると確信しています。今後地域の市民、会社、行政組織としっかりと協働して上電の発展のために活動してゆきたいと思えます。

(2015年の公共交通をつくる会 会長 佐羽宏之)

私はこれまで、数多くの中小私鉄を訪れてきましたが、鉄道を存続させていくためには、公共交通である鉄道の有する価値について、市民が共通認識を持つことが必要なのではないでしょうか。4年に渡り上電に通い続け、ウェブサイト(JoJo)を通じて上電を応援し、情報を発信してきましたが、開業以来、地域密着で歩んできた上電には、その素地は十分にあると感じています。共通認識の形成には、組織的な活動が不可欠です。友の会の発足は、市民が鉄道を支える社会への第一歩になると思えます。私も皆さんと一緒に、上電の未来のため頑張っていく所存です。(楠山喬正)

今回の夏休みイベント2010の催しの一つとして、高崎高校の鉄道研究部のジオラマを展示させて頂けることとなりました。文化祭の人気投票において常に好評頂いているこの展示ですが、文化祭以外に展示する機会がかなり限られています。そのため、今回展示の機会を頂けるということで現役員はもちろんOB一同大変ありがたく思います。今回の展示が、上電の夏休みイベントの盛り上げに少しでも貢献できれば幸いです。

(児玉洋)

写真帳「あの頃の上電」  
父親のMF一眼カメラを借りて、小学校3年生くらい(昭和55年頃)に撮った当時のデハ101。写真は一日一往復程度？運行されていた、三俣-赤城間の貨物運用の折り返しのもの。撮影場所は、赤城駅・東武鉄道構内です。塗装はオリジナルの黄色より若干オレンジがかっているようです。(徳野裕一)



上毛電鉄友の会が発足できたのは、周りの皆様からのご理解とご協力があつたからこそだと存じます。まずは感謝申し上げます。さて、総会では 会員獲得、鉄道自体へのサポート、沿線活性化へのサポートといった意見が出ました。はもちろんですが、と活動を両輪に据えたいと思います。前者は鉄道としての価値を後者は地域の足としての価値をそれぞれ高め、よりよい上電になるのではないかと思います。一所懸命、活動してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

(広報担当 稲垣)

### 編集後記

友の会が設立しては2ヶ月余、法人・任意団体・個人を含めると、百名を超える皆さんに入会いただいております。今後の友の会の活動につきましては、草の根的な市民活動をベースとして、鉄道会社や公的セクターでは実施の位置付けが難しい「中間的な事業」を担いつつ、上毛電鉄をサポートして行けたらいいと考えています。

この「友の会」だより創刊号、編集は、着手までもたつきましたが、いざ寄稿を依頼すると、あっという間に集まりました。テツ分の濃い皆さんは、仕事が速い…！ 速いのもいいけど、一条のレールのような、長く坦々とした「友の会」になるよう願っております。(新保)

## 絵

# 似顔絵コンテスト「大賞」

組織運営ビール電車のヘッドマークやぬり絵など、数々のイラストを友の会に提供してもらっている平岡氏(友の会運営委員)ですが、8月1日、栗橋商工会(埼玉県久喜市)主催の栗橋みなみ似顔絵コンテストで、「大賞」を受賞しました。イラストは今後、商工会のポスターや商品券に使われる予定とのことです。機会があれば見に行き、地域の商店で買い物してください。

平岡氏コメント  
自分の描いた絵が商工会に貢献できてうれしく思います！



## 鈴

# 風流川柳 勝手に傑作選



風鈴電車の飾り付けサポートを行いました。右は文字通り友の会独自の勝手に傑作選。

同乗の 君も鉄かや 夏の虫  
自転車の おかげで終電 間に合った  
帰宅まで のどをうるおす 電車酒  
居眠りで 行ってもせいぜい 西桐生  
二日酔い 車窓にひびく 妻のぐち  
朝ジョグの 鋭気養う 夏セーラー  
臭わない 今は田舎の 香水が  
古レール 四十路こそはの 思い込め  
誰が買う 乗務員手帳を 何に使う  
はしゃぐ父 僕は出汁なの？ デキの夏  
デハとデハ デハデハデキテ デキとホキ  
友の会 出来て鉄路の 日和あり  
選@うげ

「風鈴電車取り付けサポートに参加して」 山田 修

健康管理に何か運動しなくては、と考えていたときに目に入ったのが上電沿線歩け歩きの案内でした。それまで上電に乗ったことはほとんどありませんでしたが、久しぶりに新里まで乗ったと覚えています。以来、歩け歩きの時以外でも上電に乗って赤城南麓の名所や風景を楽しんでいます。

さて、友の会が出来たことを知って入会させていただきました。最初に参加したのが風鈴電車の飾り付け手伝いです。風鈴電車に乗り合わせたことはありませんが、飾り付けるのは初めての経験です。ガラス製でたくさんありますから、何より取り扱いには注意が必要です。この夏はちょっと得をした気持ちで、風鈴と一緒に揺られながら出かけようと思います。

## 役

# 運営委員一覧

組織運営にあたる役員の一覧です。よりよい活動を展開してまいりますのでなにとぞ、よろしくお願い致します。

役職	氏名
代表	大島 登志彦
副代表	佐羽 宏之
副代表	岡田 賢
副代表兼事務局長	新保 正夫

役職	氏名
運営委員(企画担当)	福津 紀幸
運営委員(企画担当)	平岡 隆一
運営委員(広報担当)	稲垣 昌茂
運営委員(広報担当)	徳野 裕一
運営委員(事務局次長)	太田 聡彦
監事	川田 由香里
監事	新木 三雄

## 募

# 会報誌名の募集

第2号の発行までには、名前を決めましょう。  
応募フォームは、友の会公式サイトに作成してあります。  
フルって、ご応募くださいm(\_ \_)m

## 発刊 上毛電気鉄道 友の会

WEB <http://www15.wind.ne.jp/~joden/supporters/>  
E-mail [joden-support@kl.wind.ne.jp](mailto:joden-support@kl.wind.ne.jp)